

12月30日までの環境・CSR 関連 TV 番組紹介

- (関東ベースです。また、時間の変更等ありますため、自身で再度時間確認等願えればと存じます)
(マークは、再放送でのおすすめ番組を、私見により判断したもの)
(マークは、内容的に中でも必見と予測される番組を、私見により判断したもの)

・12月25日(日)

- 11:00~11:30 BS朝日 菅原明子の地球大好き未来便 ゲスト:松永烈(再放送)
(炭酸ガスの排出量が少なく、環境に優しい「地熱発電」)

【参考記事】

日本は火山国であり、地熱発電の賦存量は大きい。産業技術研究所の試算によれば2347万KWに達するという(環境省が4月21日に発表した調査ではさらに増え、3300万kwに達している)。理論的に開発可能な容量とはいえ、東京電力の原子力発電の総量(福島第一、福島第二、柏崎刈羽)を上回る量だ。これは世界でもインドネシア、米国に次いで第3位となっている。

<http://www.nikkei.co.jp/article/column/20110426/268275/?rt=ocnt>

レスター・ブラウン氏は、「日本はなぜもっと地熱を使わないのか。日本には1万カ所も温泉があり、日本の必要量の半分賅える」と言っています。地球温暖化等の環境問題がクローズアップされており、地熱発電は石油などの化石燃料を使わない地球にやさしいクリーンエネルギーとしても、その重要性が再認識されています。アイスランドは、以前は石炭でしたが、今では電力発電の99%を水力と地熱で賅っています。<http://www.lohasclub.org/1000/1300/1306.html>

アイスランド(中略)エネルギー生産量の73%を氷河による水力発電、27%を地熱発電が賅う。火力や原子力発電所はない。アイスランドは省エネとは程遠く、一人当たりの電力消費量は世界一。だが住宅の暖房の95%が地熱発電で温めた温水を利用しているため、電力を浪費しても環境に優しく、電気代も石油や電気による暖房の半分以下で済む。火山大国の日本は地熱資源の保有量が世界3位ながら、総発電量に占める地熱発電の割合は約0.3%。(以下略)Newsweek 日本版、4月27日号

- 23:00~23:30 TBS テレビ 情熱大陸 音楽プロデューサー 小林武
(大震災と福島原発事故 自然エネルギーの可能性 自分ができることは何か)

・12月26日(月)

- 1:50~2:45 日本テレビ NNNドキュメント
(3・11大震災 シリーズ25 聖なる夜と放射線 この子の未来を祈る)

・12月28日(水)

- 22:55~23:25 NHK総合 追跡!真相ファイル
(低線量被ばく 揺らく国際基準)

いま全国の人々が直面している低線量被ばくの脅威。“生涯100ミリシーベルト以下はほとんど影響がない”とする国が、安全の根拠とするのが、ICRP=国際放射線防護委員会が定める「国際基準」だ。広島・長崎の被爆者の調査データを基に作られた基準だが、これまで、がんになるリスクが、実際の半分に過小評価されていた事実が浮かび上がってきた。知られざる低線量被ばくの実態と、揺らく国際基準の現場を追跡する。

・12月29日(木)

- 14:40~15:00 NHKEテレ NHK高校講座 家庭総合
(大丈夫?ニッポンの食卓~食生活と環境問題)

23:10～4:00 NHK 総合 特集 双方向解説 そこが知りたい! どんな国を目指すのか
(解説委員が4部に分かれ2011年を振り返る 第3部「原発、エネルギー、環境」他)

以上